

静岡市



公園樹木

管理指針

【資料編】（案）



令和 8 年 3 月
静 岡 市

目 次

目次

1	静岡市の都市公園数	1
2	公園内の樹林地に対する基本的な考え方（参考）	3
3	2024年度（令和6年度）静岡市市民意識調査結果	4
4	公園樹木の現状.....	7
5	公園利用者からの要望.....	11
6	樹木の維持管理の現状.....	12
7	倒木等による事故事例（静岡市）	13
8	倒木等による事故に関する全国調査について（国土交通省）	15
10	都市公園の樹木の点検・診断に関する指針（案）	18

この資料編は、「静岡市公園樹木管理指針」において示した基本的な考え方や方針の根拠となるデータ等を参考資料として取りまとめたものです。

1 静岡市の都市公園数

(1) 静岡市が管理する公園数

【表1：静岡市が管理する公園数 令和7年3月31日時点】

種類	種別	箇所数	面積	内容・公園例
住区 基幹 公園	街区公園	421	69.54	主に街区内に居住する者の利用に供する公園 鷹匠公園、渋川中公園など
	近隣公園	22	39.37	主として近隣に居住する人の利用に供する公園 常磐公園、森下公園、秋葉山公園など
	地区公園	2	12.54	主として徒歩圏内に居住する人の利用に供する公園 城北公園、八幡山公園
都市 基幹 公園	総合公園	5	96.27	都市住民全般の休憩観賞、散歩など総合的な利用に 供することを目的とした公園 駿府城公園、清水船越堤公園など
	運動公園	1	15.81	都市住民の運動に供することを目的とする公園 日本平運動公園
特殊 公園	歴史公園	1	5.80	歴史的、文化的風土等を保全、活用するため、史跡 等の文化財と一体となった公園 登呂公園
	風致公園	11	35.58	良好な自然的環境を形成する土地等の保全、活用を することを目的とした公園 谷津山自然公園、羽衣公園、日本平公園など
緑地	緑地	72	179.54	主として自然的環境の保全ならびに改善、都市景観 の向上を図るために配置する緑地 安倍川緑地、用宗緑地、富士川緑地など
緑道	緑道	1	0.27	災害時における避難路の確保、市街地における都市 生活の安全性及び快適性を図ることを目的として、 近隣住区の相互連絡を図るよう配置される緑道 中田川緑道
緩衝 緑地	緩衝緑地	2	1.06	公害防止、緩和若しくはコンビナート地帯等の災害 の防止を図ることを目的とする緑地で、公害、災害 発生源地域と住居地域、商業地域等とを分離遮断す ることが必要な位置について公害、災害の状況に応 じ配置する緑地 潮風の散歩みち緑地、道下緑地
その他の公園		45	8.40	都市公園法に基づく都市公園以外の公園
計		583	464.18	

※住区基幹公園、都市基幹公園、特殊公園、緑地、緑道、緩衝緑地は都市公園法第2条に定義される都市公園

(2) 公園種別毎の公園例

街区公園（例：竜南雨坪公園 葵区）



近隣公園（例：森下公園 駿河区）



地区公園（例：城北公園 葵区）



総合公園（例：駿府城公園 葵区）



運動公園（例：清水日本平運動公園 清水区）



2 公園内の樹林地に対する基本的な考え方（参考）

（1） 位置づけ

公園内で自然な状態で保たれている樹林地の樹木については、個々の樹木を対象とした維持管理の考え方とは性質が異なることから、本指針の対象外としています。

一方で、樹林地は、景観の形成や生物多様性の確保、防災機能の発揮など、公園全体の価値を支える重要なみどりであり、そのあり方について一定の考え方を整理しておくことは重要です。

このため、樹林地については、樹木一本ごとの管理ではなく、樹林全体を一つのまとまりとして捉え、自然性や環境特性を尊重しつつ、安全確保や利用との調和に配慮した関わり方を基本としていきます。

（2） 樹林地の特性

樹林地は、植栽地とは異なり、地形や土壌条件、自然の遷移などの影響を受けながら、樹木が群として成立している空間です。

そのため、樹木一本ごとの健全度や樹形を管理の中心とするのではなく、樹林全体の構造や周辺環境との関係性を踏まえた捉え方が求められます。

主な特性として、次の点が挙げられます。

- ・ 樹木が群として生育し、自然性が高い
- ・ 景観形成や生きものの生息・移動空間としての役割を持つ
- ・ 斜面地や谷地形などでは、防災上の機能を担う場合がある

（3） 樹林地との関わり方の考え方

樹林地との関わり方については、次の視点を基本とします。

①自然性への配慮

自然環境や景観への影響を考慮し、必要以上の人為的な介入は行わないことを基本とします。

②安全への配慮

倒木や落枝、斜面崩壊等により、公園利用者の安全に支障を及ぼすおそれがある場合には、現地状況を踏まえた対応を検討します。

③利用との調和

園路や広場など利用空間と隣接する場合には、見通しや通行性とのバランスに配慮します。

3 2024年度（令和6年度）静岡市市民意識調査結果 【市の「みどり」と公園について】（抜粋）

2024年度（令和6年度）に「静岡しみどりの基本計画」を改訂するにあたり、静岡市市民意識調査にて市の「みどり」と公園について意識調査を実施しました。（公園樹木に関する結果を抜粋）

（1）調査概要

- ・調査の対象 市内に住む18歳以上3,000人（住民基本台帳から等間隔無作為抽出）
- ・調査期間 令和6年6月1日～21日
- ・回収状況 有効回答1,353人（回答率45.1%）

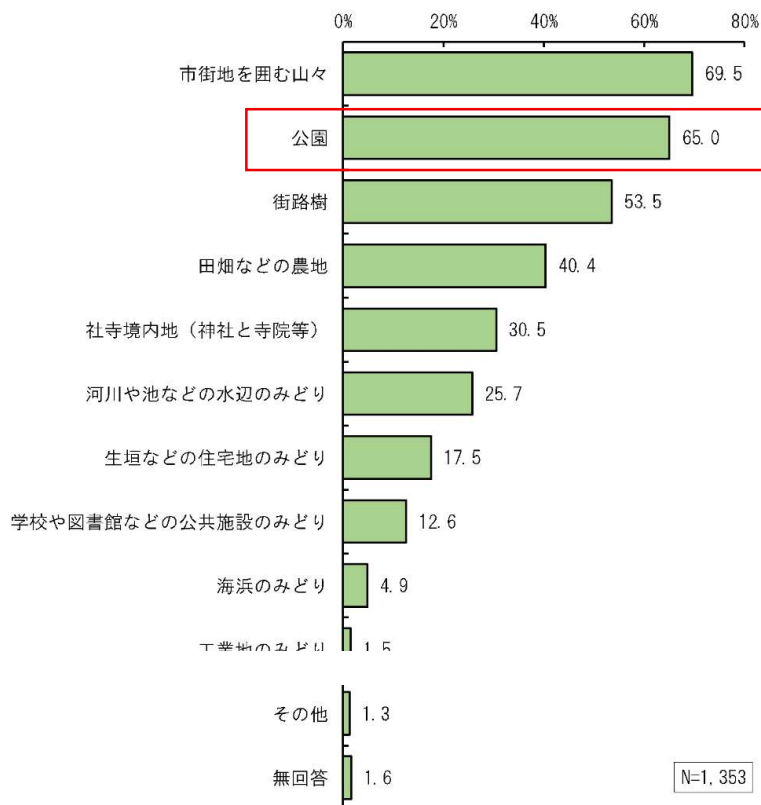
（2）調査結果

5. 市の「みどり」と公園について

まず、「みどり」について伺います。

問1 あなたが「みどり」と聞いて、思い浮かべるものはどのようなものですか。
（〇はいくつでも）

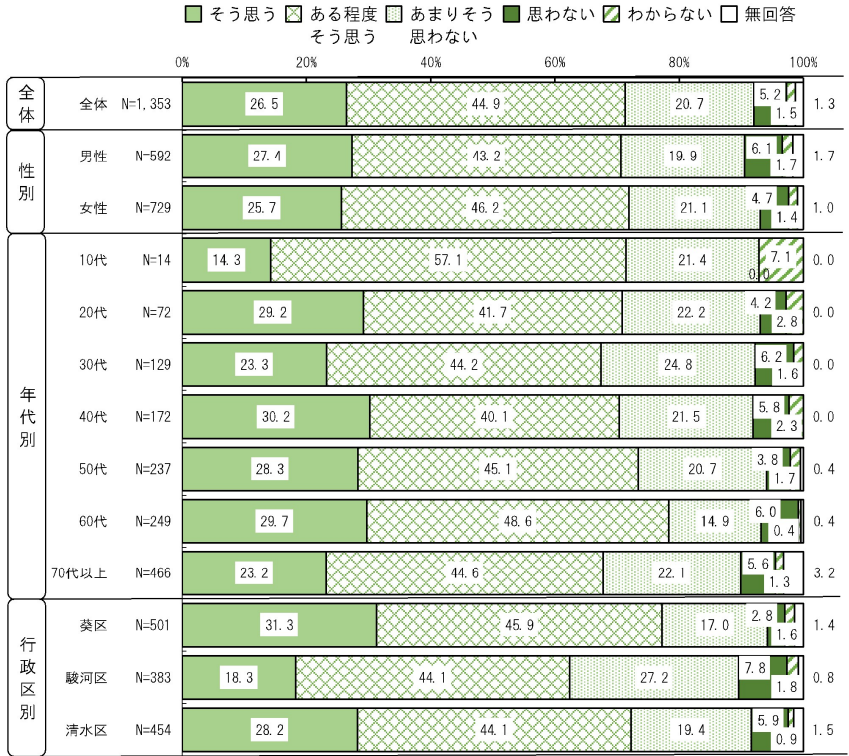
「みどり」と聞いて思い浮かべるものについては、「市街地を囲む山々」69.5%と最も多く、次いで「公園」65.0%、「街路樹」53.5%、「田畑などの農地」40.4%、「社寺境内地（神社と寺院等）」30.5%などとなっています。



問2 あなたがお住まいの地域は、「みどり」が多い地域だと思いますか。
(〇は1つ)

お住まいの地域は「みどり」が多い地域だと思うかについては、「ある程度そう思う」44.9%と最も多く、次いで「そう思う」26.5%、「あまりそう思わない」20.7%などとなっています。

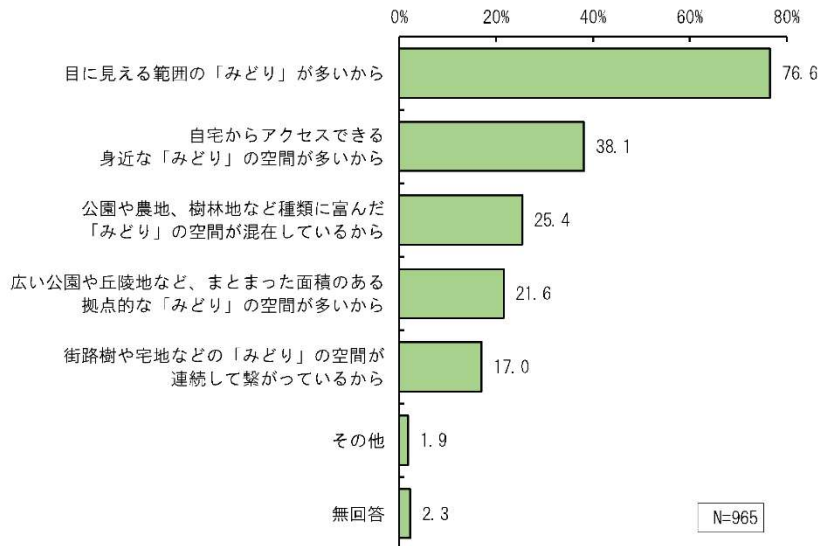
また、『そう思う』（「そう思う」+「ある程度そう思う」）は71.4%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」+「思わない」）は25.9%となっています。



II 調査結果【5. 市の「みどり」と公園について】

問2で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答した方に伺います。
問2-1 「みどり」が多いと思う理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

「みどり」が多いと思う理由については、「目に見える範囲の「みどり」が多いから」76.6%と最も多く、次いで「自宅からアクセスできる身近な「みどり」の空間が多いから」38.1%、「公園や農地、樹林地など種類に富んだ「みどり」の空間が混在しているから」25.4%などとなっています。

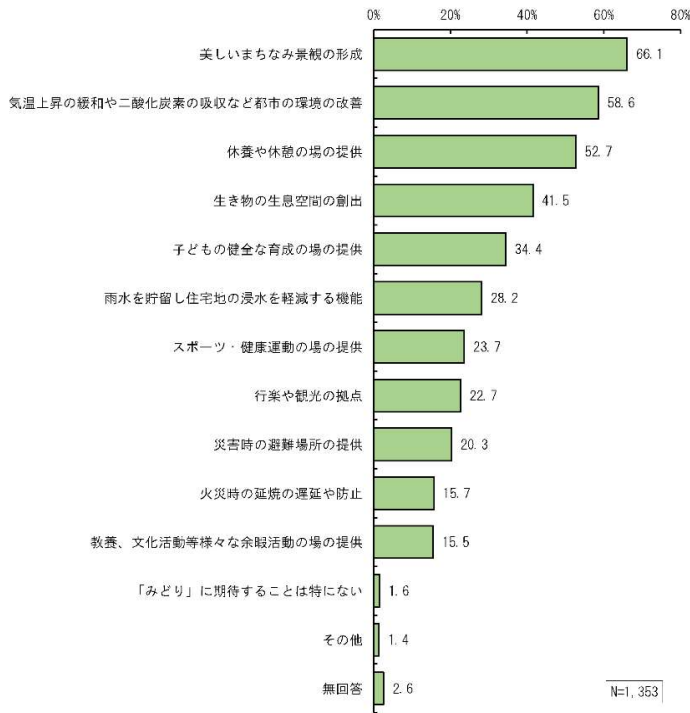


Ⅱ 調査結果【5. 市の「みどり」と公園について】

問1で思い浮かべられた身近な「みどり」は、市民の皆さんの生活の質を高めるための様々な効果や機能を持っています。

問3 あなたが「みどり」に期待することは何ですか。
(〇はいくつでも)

「みどり」に期待することについては、「美しいまちなみ景観の形成」66.1%と最も多く、次いで「気温上昇の緩和や二酸化炭素の吸収など都市の環境の改善」58.6%、「休養や休憩の場の提供」52.7%、「生き物の生息空間の創出」41.5%、「子どもの健全な育成の場の提供」34.4%などとなっています。

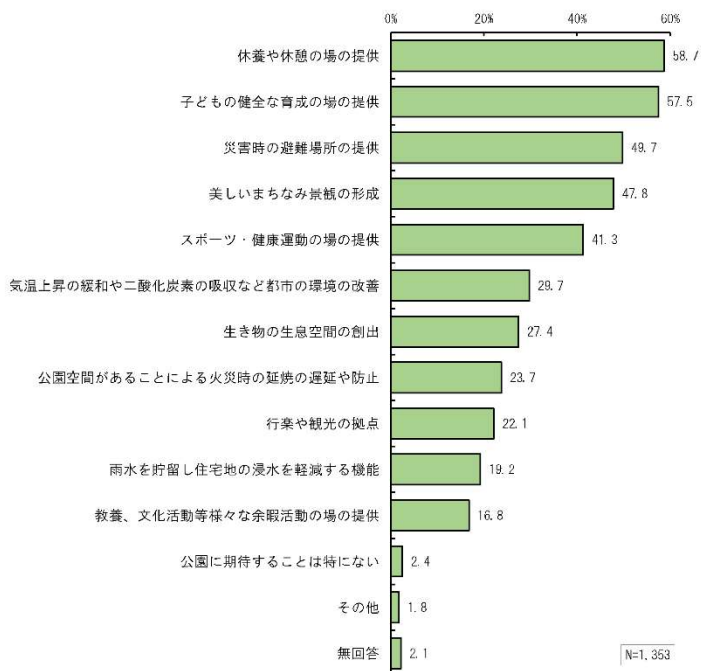


Ⅱ 調査結果【5. 市の「みどり」と公園について】

次に、公園について伺います。

問4 あなたが公園に期待することは何ですか。
(〇はいくつでも)

公園に期待することについては、「休養や休憩の場の提供」58.7%と最も多く、次いで「子どもの健全な育成の場の提供」57.5%、「災害時の避難場所の提供」49.7%、「美しいまちなみ景観の形成」47.8%、「スポーツ・健康運動の場の提供」41.3%などとなっています。



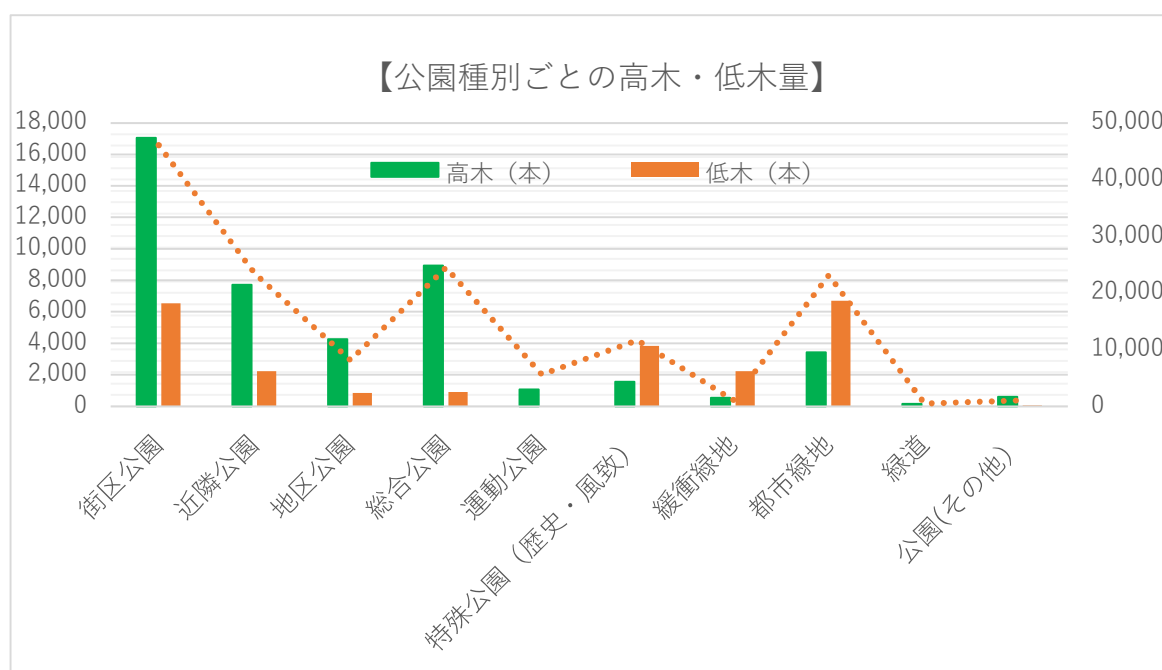
4 公園樹木の現状

(1) 公園樹木の総量

公園に植栽されている樹木は、高木約 45,000 本、単独で植栽している低木は約 23,000 本、列植されている低木は約 145,000 m²となっています。この数には、樹林地や雑木林、実生木（風や鳥などが運んできた種から発芽し成長した樹木）などの樹木の数は含まれていません。

公園種別ごとの高木（本）をみると、街区公園で約 17,000 本と最も多く、次いで総合公園が 9,000 本、近隣公園が 7,700 本となっています。

一方、低木（本）は、都市緑地でもっとも多く約 6,700 本であり、次いで街区公園で約 6,500 本、特殊公園で約 3,800 本となっています。低木（m²）は、街区公園で約 46,000 m²と最も多く、次いで総合公園で約 24,500 m²、近隣公園で約 23,500 m²、都市緑地で約 23,100 m²となっています。



公園種別	高木(本)	低木(本)	低木(m ²)
街区公園	17,058	6,546	46,092
近隣公園	7,715	2,222	23,478
地区公園	4,262	854	8,191
総合公園	8,940	909	24,479
運動公園	1,060	20	5,597
特殊公園(歴史・風致)	1,546	3,840	11,673
緩衝緑地	535	2,218	1,079
都市緑地	3,422	6,700	23,139
緑道	161	6	501
公園(その他)	591	44	1,062
合計	45,290	23,359	145,291

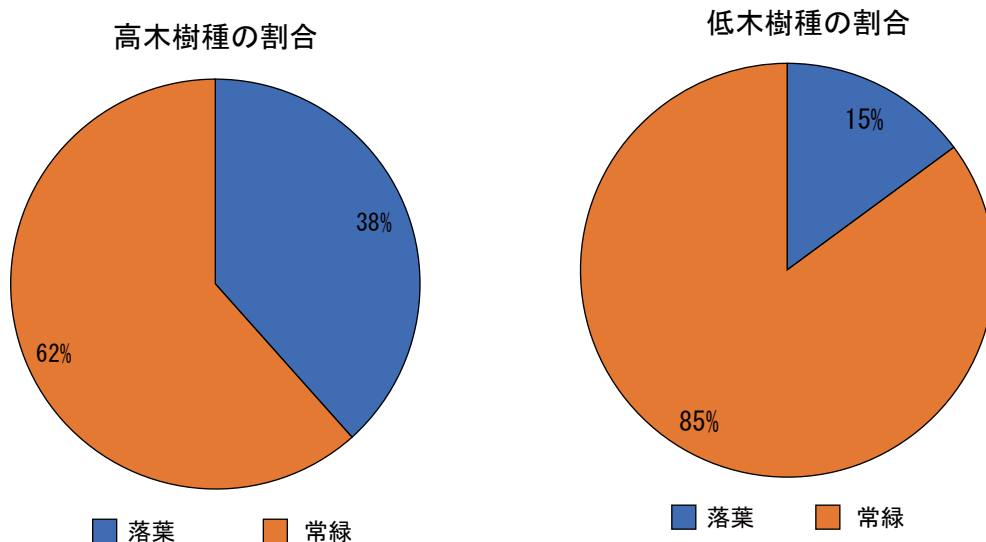
※静岡市公園台帳システムに登録されている樹木

(2) 植栽樹種の傾向

公園樹木として植栽されているのは375種にのぼり、多様な樹種が選定されています。高木が233種類、低木が143種類となっています。

高木では、常緑の樹種が約6割、落葉の樹種が約4割となっており、常緑樹の割合が高くなっています。また、サクラ類、サザンカ、ツバキ、サンゴジュ、キンモクセイが公園樹木として多く植栽されており、いずれも花や実が付き、季節を感じることできる樹種が多くなっています。

低木では、常緑の樹種が8割を超えており、圧倒的に植栽割合が高くなっています。公園内の園路沿いや、公園との敷地境界（民家、道路等）等、人目に付きやすい場所に植栽されていることが多く、ツツジ類、ハマヒサカキ、ナワシログミなど、いずれも美しい花や果実が付き、季節を感じる樹種が多くなっています。



公園に植栽されている主な樹種

樹種	常緑/落葉	高木/中木/低木
サクラ類	落葉	高木
サザンカ	常緑	高木
ツバキ	常緑	高木
サンゴジュ	常緑	高木
キンモクセイ	常緑	高木
マツ	常緑	高木
ケヤキ	落葉	高木
マテバシイ	常緑	高木
モチノキ	常緑	高木
ヤマモモ	常緑	高木
シラカシ	常緑	高木
カイヅカイブキ	常緑	高木
クスノキ	常緑	高木
ツツジ類	常緑	低木
ナワシログミ	常緑	低木
ハマヒサカキ	常緑	低木
シャリンバイ	常緑	低木
アオキ	常緑	低木
ユキヤナギ	落葉	低木
トベラ	常緑	高木

(3) 樹齢・形状

静岡市の公園は、供用開始後 30 年以上経過している公園が全体の 51%にのぼり、公園樹木も樹齢 30 年以上のものが多くなっています。

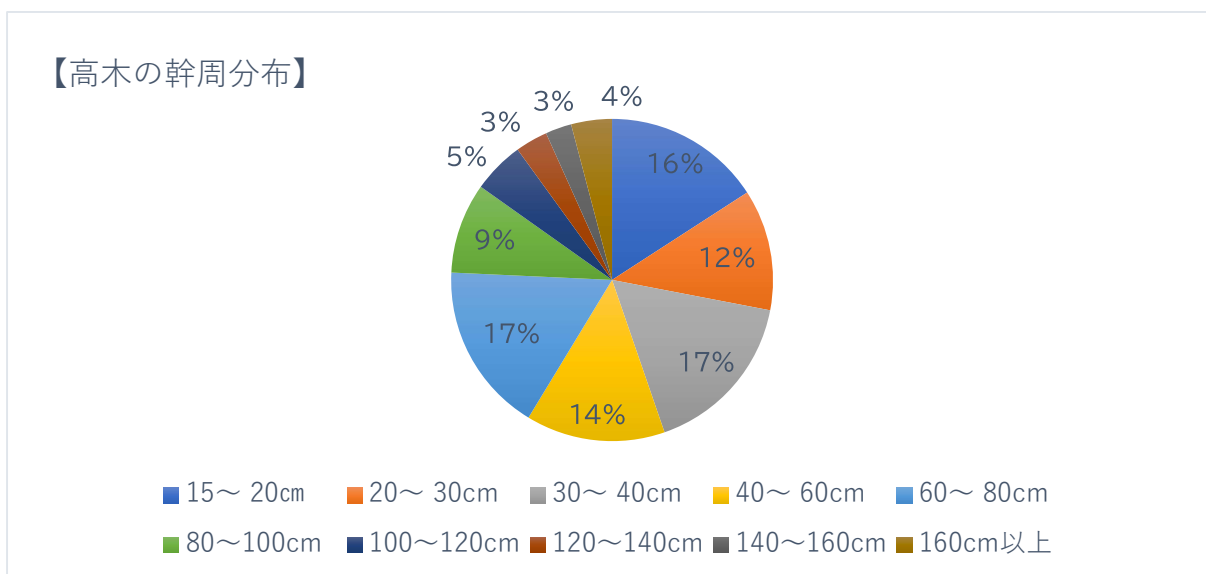
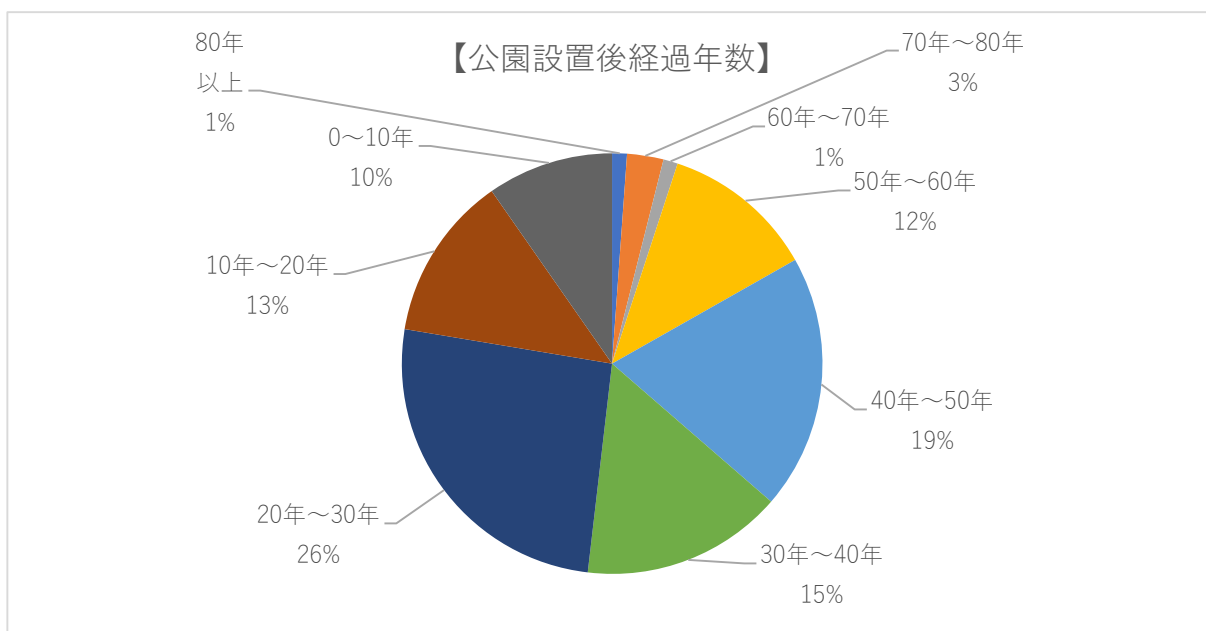
高木の幹周は、高木約 45,000 本の内約 11,000 本が幹周 80 cm 以上となっており、約 25%が大木化しています。

高木（常緑樹）の幹周 80cm 以上が多いのは、マツ、クスノキ、アラカシとなっており、高木（落葉樹）の幹周 80cm 以上が多いのは、サクラ類、ケヤキとなっています。

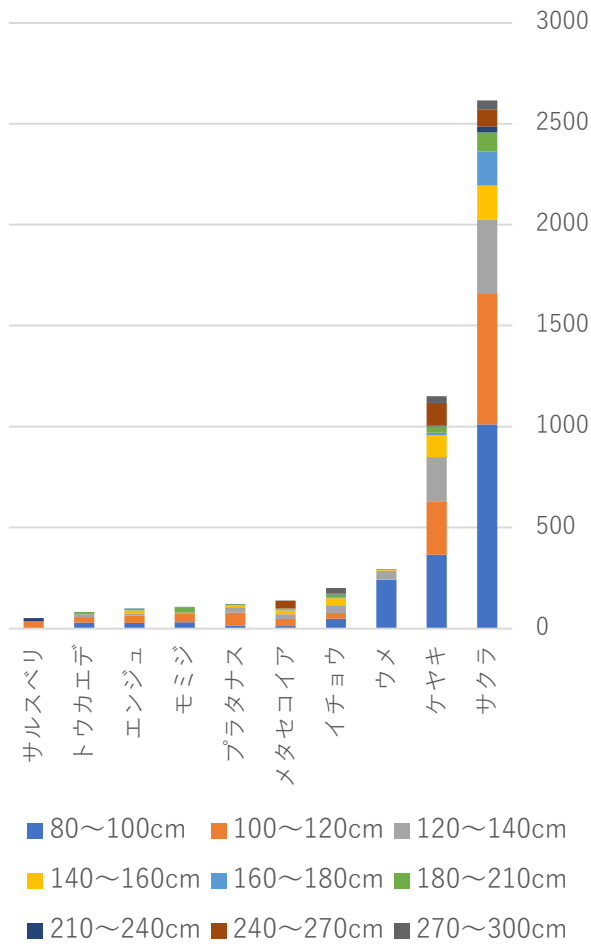
また、それぞれの樹種の総数に対して幹周 80cm 以上となっている樹種は、ワシントンヤシ 100%、ヤタイヤシ 96%、カナリーヤシ 89%といったヤシ類のほか、アカマツ 90%、タイサンボク 61%、ヒマラヤスギ 51%、クスノキ 45%などとなっています。

高木（落葉樹）で幹周 80cm 以上が多い樹種は、サクラ類約 1,600 本、ケヤキ約 1,100 本となっており、この 2 種類で落葉樹全体の約 70%を占めています。

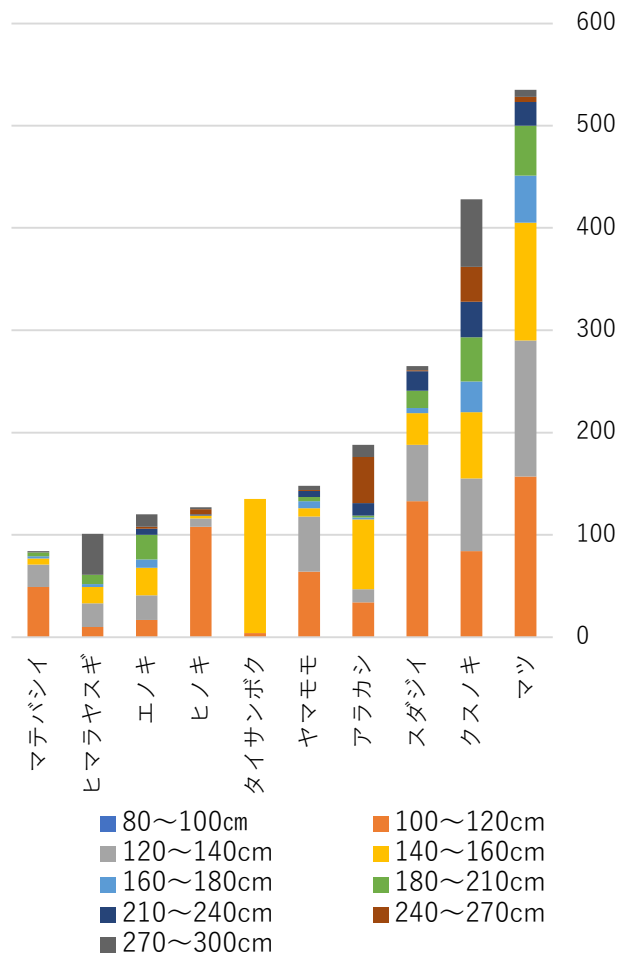
また、幹周 80cm 以上の割合が高い公園は、地区公園、特殊公園、総合公園となっており、広い面積の公園において大木化の傾向が顕著となっています。



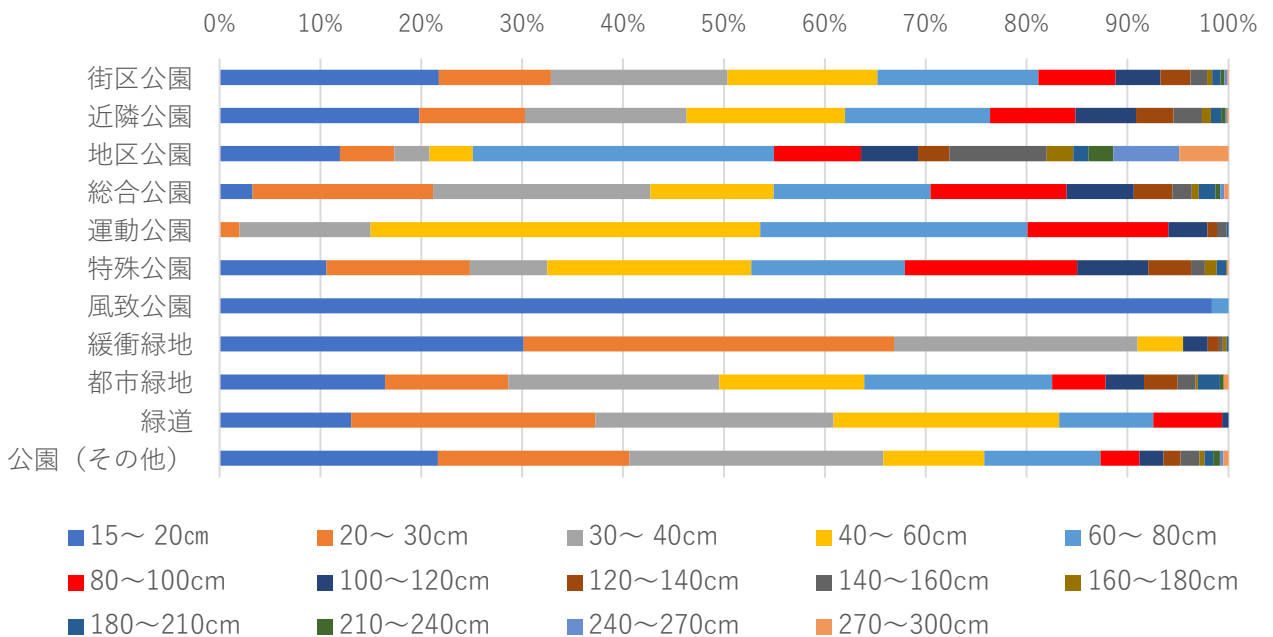
【幹周 80 cm以上の樹木本数】
(落葉樹)



【幹周80cm以上の樹木本数】
(常緑樹)

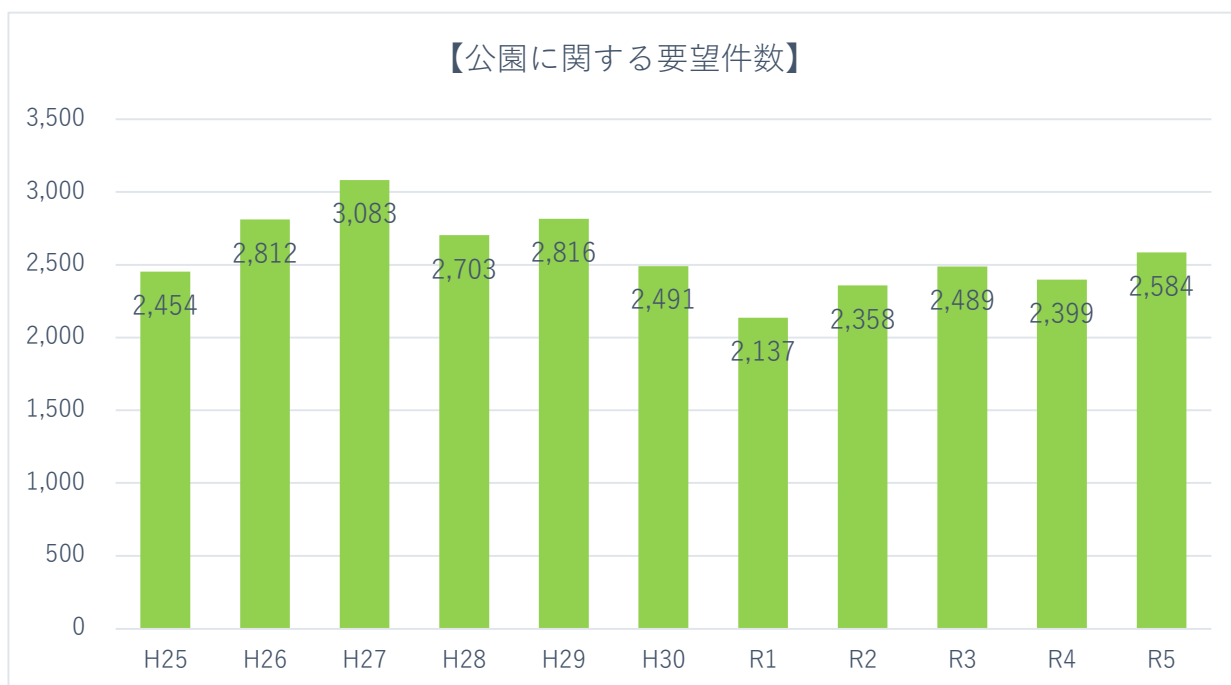


【公園種別の幹周分布】



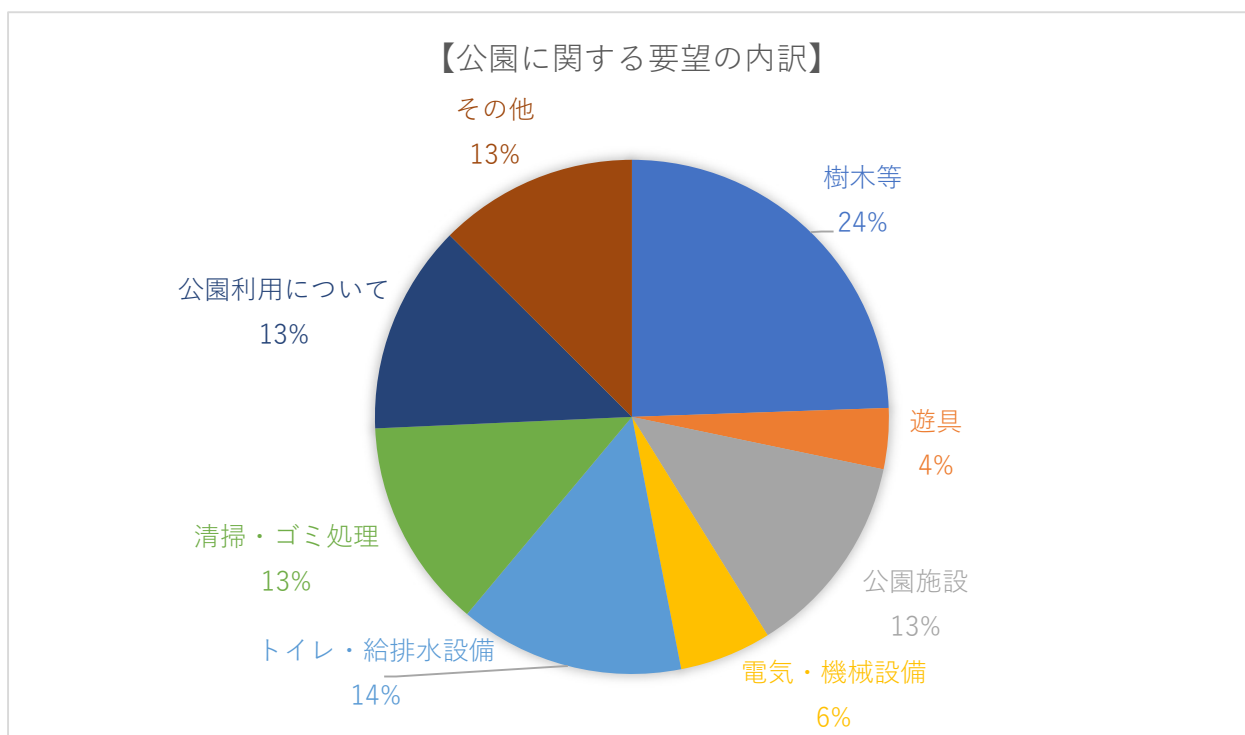
5 公園利用者からの要望

平成 25 年度から令和 5 年度までに市内の都市公園に寄せられた要望件数は以下のとおりです。平成 2 7 年度に 3,083 件と最も多く、平均して年間 2,500 件程度の要望が寄せられています。



公園に関する要望の内訳は、樹木等に関するものが 24% と最も多く、植栽管理に関する要望は非常に多くなっています。

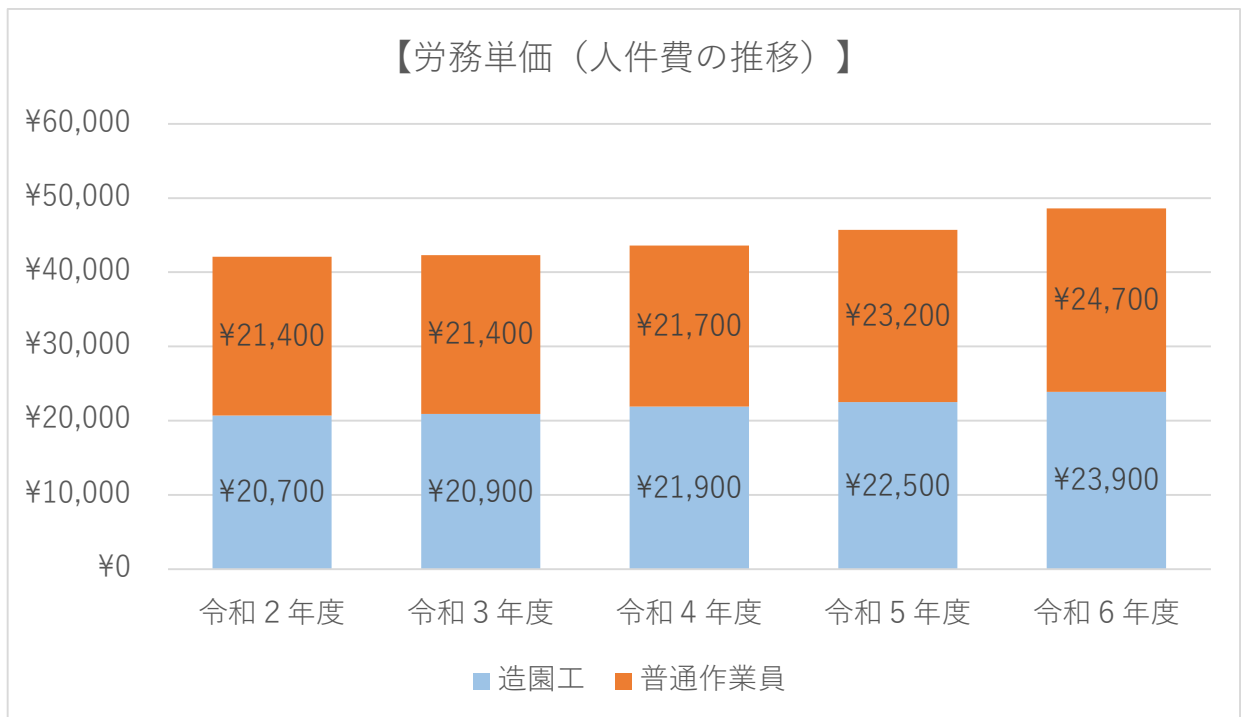
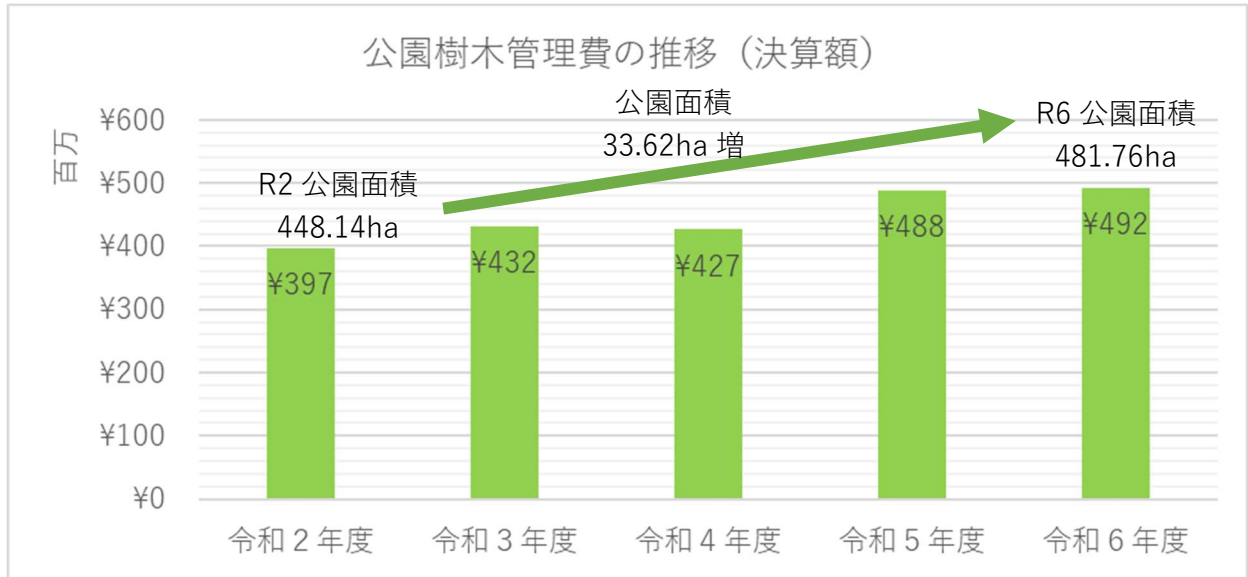
樹木に関する要望内容は、「剪定」、「倒木」、「落葉」、「消毒・虫」に関するものが多くなっています。



6 樹木の維持管理の現状

(1) 樹木の維持管理費の推移

公園樹木等の維持管理費（草刈も含む）の推移をみると、微増傾向ですが、公園面積及び人件費、燃料費等が年々増加しているにもかかわらず一定の維持管理費となっています。



(2) 樹木管理の内容

公園の樹木管理は、おおむね2年に1回のサイクルで整枝剪定を実施しています。

維持管理費予算に合わせて樹木剪定の回数を調整し、最低限の管理レベルを維持し、問題事象が発生した場合には、その都度応急対応をする事後保全型の管理手法を行っています。

【現在の維持管理の頻度】

作業項目	おおむねの頻度や内容
薬剤散布（病虫害駆除）	病虫害を確認した時に必要に応じて実施
除草	草の繁茂状況から除草が必要な公園を判断し、年に2回～5回程度実施
低木刈込	原則2年に1回の刈込を実施
高木剪定	整枝剪定を原則2年に1度実施
伐採	主に枯損木を対象に実施

7 倒木等による事故事例（静岡市）

静岡市の都市公園にて発生した倒木等による事故事例を以下に示します。

(1) 落枝による事故事例



【事故概要】公園種別：近隣公園

公園の中央部に位置するサークルベンチ内において、クスノキ（幹周約1.5m、樹高約10m）から太枝（周長約0.2m、長さ約0.3m）が前触れなく落下した。

落下した枝は、ベンチで休憩していた利用者の左頬をかすめ、当該利用者は切り傷および打撲を負った。当該樹木は樹齢の高いクスノキであり、樹種の特徴として腐朽した枝が生じやすい状況にあった。加えて、前日の降雨により枝が水分を含み自然落下に至った可能性が考えられる。

【再発防止策】

注意喚起の看板設置を行い、随時職員によるパトロールを実施し目視による点検強化を図る。また、樹木管理委託業務内にて適正な剪定作業を行い枯枝等の状況に注視するよう指導する。

(2) 倒木による事故事例



【事故概要】 公園種別：街区公園

公園内のサクラ（幹周約 2.5m、樹高約 10m）が倒れ、公園のフェンス及び隣接地の貯蔵庫、カーポートの屋根が破損した。

当該サクラは老木化していたこと及び事故発生時日は強風注意報も発令されており倒木したものと考えられる。

【再発防止策】

特に樹齢が経過している高木がある公園を中心に、随時職員によるパトロールを実施し目視による点検強化を図る。

樹木管理委託業務内にて幹や枝、葉等の状況を注視し、倒木の可能性があるものについては即時報告するよう指導する。

8 倒木等による事故に関する全国調査について（国土交通省）

国土交通省で実施した全国の倒木・落枝による人身・物損事故や樹木点検に関する調査の調査結果は以下のとおりです。

（1）調査概要

倒木等による事故に関する全国調査について



- 国土交通省では、都市公園や道路において倒木等における事故が発生している状況を踏まえ、全国の倒木・落枝による人身・物損事故や樹木点検に関する調査を行いました。今般、調査結果を以下のとおり、取りまとめましたのでお知らせします。
- 引き続き、公園管理者、道路管理者による樹木の安全確保の取組が一層進むよう、支援してまいります。また、都市公園、道路ともに管理者によって点検の実施状況が異なることから、今後の点検のあり方について検討してまいります。

【調査内容】

令和3年4月1日～令和6年11月7日（調査時点）に発生した樹木の倒木等の事故発生状況及び樹木点検の実施状況

【調査対象】

- ①全国の都市公園
- ②国・都道府県・自治体が管理する道路

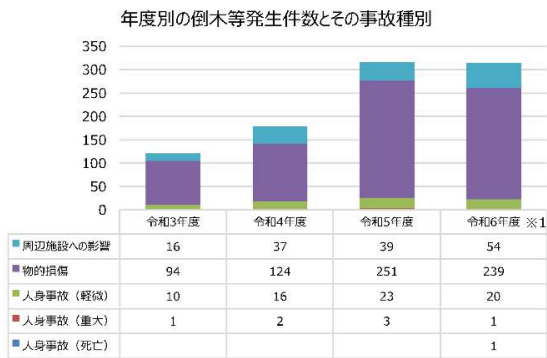
【結果概要】

事故・障害発生件数

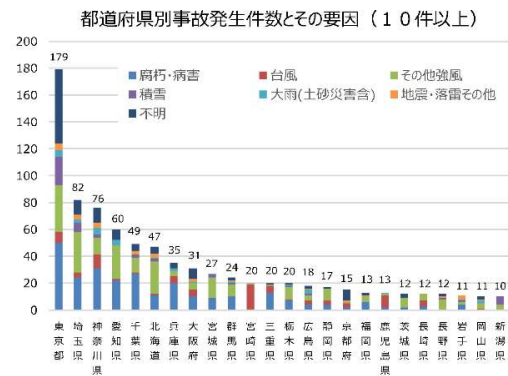
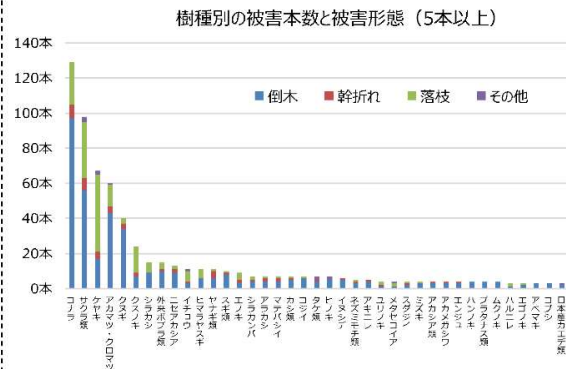
- ①都市公園 計931件（うち、人身事故77件）
 - ・樹種上位は、コナラ、サクラ類、ケヤキ
 - ・事故につながったものは倒木が多い
 - ・コナラ類ではナラ枯れ被害樹木の倒木も多く見られた
- ②道路 計801件（うち、人身事故33件）
 - ・樹種上位は、ケヤキ、サクラ類、アカマツ・クロマツ類
 - ・事故につながったものは落枝、次いで倒木が多い
 - ・倒木等の要因は、台風・強風、腐朽・病害によるものが多い

(2) 調査結果

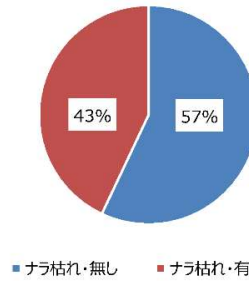
調査結果① 公園樹木の倒木等発生状況



※1 令和6年度は調査時点（11月7日時点）までの集計結果



コナラ類※2のナラ枯れ被害の有無（N=128）

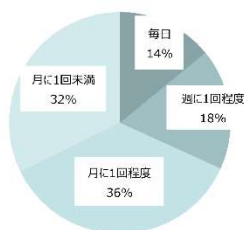


※2 被害樹木のうち、コナラ、クヌギ、ミズナラを対象に集計

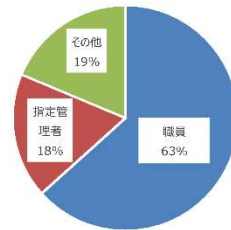
調査結果② 公園樹木の点検実施状況

- ・都市公園については、公園管理者である自治体等の職員のほか、指定管理者などが日常・定期点検を実施している。
- ・日常点検の実施頻度は、月に1回程度が最も多く、職員による実施が最も多い結果となった。
- ・定期点検の実施頻度は年に1回以上が最も多く、外部発注での実施が約半数、そのうち樹木点検の発注にあたって専門技術者による実施を要件としている自治体等が65%であった。

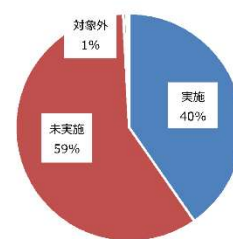
日常点検の頻度



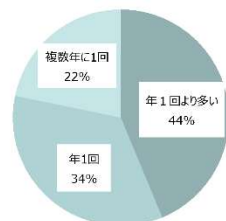
日常点検の実施者



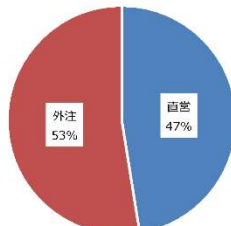
定期点検・実施の有無



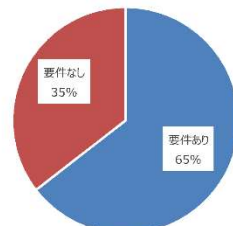
定期点検の頻度



定期点検の実施方法



専門技術者による実施※1



※1 定期点検を外注で実施している自治体等のうち、発注時に技術的要件を設定している割合

都道府県別の要因別事故発生件数

	腐朽・病害	台風	その他強風	積雪	大雨(土砂災害含)	その他	不明	総計		腐朽・病害	台風	その他強風	積雪	大雨(土砂災害含)	その他	不明	総計
北海道	11	1	24	2	1	3	5	47	滋賀県	1	0	1	1	0	0	0	3
青森県	3	0	1	0	0	0	1	5	京都府	2	3	1	0	0	1	8	15
岩手県	4	0	2	1	1	3	0	11	大阪府	10	5	5	0	1	2	8	31
宮城県	9	0	15	2	1	0	0	27	兵庫県	20	5	4	0	2	0	4	35
秋田県	2	1	1	0	0	0	0	4	奈良県	6	1	0	0	1	0	0	8
山形県	2	0	3	1	1	0	1	8	和歌山県	0	1	2	0	0	0	0	3
福島県	3	0	2	0	0	0	0	5	鳥取県	1	0	1	0	0	0	0	2
茨城県	2	0	7	0	0	0	3	12	島根県	0	2	1	0	0	0	0	3
栃木県	7	1	9	1	1	0	1	20	岡山県	0	1	4	0	2	1	2	10
群馬県	10	0	9	1	1	1	2	24	広島県	4	3	4	1	3	1	2	18
埼玉県	24	4	30	7	2	4	11	82	山口県	0	0	1	0	2	1	1	5
千葉県	27	1	11	2	0	3	5	49	徳島県	1	0	0	0	0	0	0	1
東京都	50	8	35	21	5	5	55	179	香川県	3	0	1	0	0	0	1	5
神奈川県	31	10	13	2	5	4	11	76	愛媛県	3	0	1	0	1	0	2	7
新潟県	0	0	4	6	0	0	0	10	高知県	0	2	0	0	0	0	1	3
富山県	0	0	3	2	0	1	0	6	福岡県	6	0	4	0	0	1	2	13
石川県	0	0	2	1	0	0	0	3	佐賀県	2	2	0	0	0	2	1	7
福井県	0	0	1	0	1	0	1	3	長崎県	3	4	5	0	0	0	0	12
山梨県	2	1	2	1	0	0	1	7	熊本県	2	1	0	0	1	0	4	8
長野県	0	0	8	1	0	1	2	12	大分県	5	0	4	0	0	0	0	9
岐阜県	1	0	1	2	0	0	0	4	宮崎県	0	19	1	0	0	0	0	20
静岡県	4	3	9	0	0	0	1	17	鹿児島県	2	9	1	0	1	0	0	13
愛知県	22	1	25	0	4	0	8	60	沖縄県	0	8	1	0	0	0	0	9
三重県	13	5	1	0	0	0	1	20	計	298	102	260	55	37	34	145	931

公園樹木の主な事故事例

強風による被害の例

- 種別：倒木
- 樹種：ヒマラヤスギ
- 樹高：16 m
- 幹周：230 cm
- 公園種別：街区公園



強風で敷地境界付近の樹木が
根本から倒木し、電線引込柱を損傷

強風による被害の例

- 種別：落枝
- 樹種：ケヤキ
- 樹高：15 m
- 幹周：268 cm
- 公園種別：近隣公園



強風でケヤキの大枝が落下し
公園内の施設を損傷

腐朽・病害による被害の例

- 種別：倒木
- 樹種：コナラ
- 樹高：7 m
- 幹周：187 cm
- 公園種別：特殊公園



ナラタケ病で枯死したコナラの幹が根の腐朽で倒木
ナラ枯れの症状も見られた

腐朽・病害による被害の例

- 種別：倒木
- 樹種：クスギ
- 樹高：10 m
- 幹周：100 cm
- 公園種別：近隣公園



病害によりキノコが発生したクスギ
県道への倒木により車両の破損及び沿乗者受傷

9 都市公園の樹木の点検・診断に関する指針(案)

国土交通省は、平成 29 年に都市公園の樹木を起因とした事故等を未然に防止し、樹木の健全な育成を図りつつ、公園利用者等の安全・安心を確保することを目的として「都市公園の樹木の点検・診断に関する指針(案)」を策定しました。同指針(案)の参考資料から点検・診断に関する資料を以下に示します。

(1) 種類ごとに実施することが望ましい点検・診断項目

点検・診断項目

段階	点検項目
日常点検	<p>徒歩または車両からの目視によって発見可能な高木・中低木の変状及び異常 (高木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒伏、落枝による利用障害 ・枯れ枝、ぶら下がり枝(かかり枝)で落枝危険性の高いもの ・その他明らかに確認できる変状及び異常(高木、中低木) ・視距の阻害 ・突出枝 ・樹体の不自然な傾斜など、定期点検以上の段階の点検項目でも明らかに確認できる変状及び異常
定期点検	<p>徒歩による目視等によって発見可能な高木・中低木の変状及び異常(日常点検に追加される項目) (高木)</p> <p>(遥動による点検)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹幹の揺らぎ <p>(目視による点検)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹幹の不自然な傾斜・樹幹の亀裂 ・樹幹・大枝・地際のキノコ ・樹勢、樹形・外周道路の建築限界侵害 ・支柱の腐朽・損傷・浮上・結束の緩み ・支柱の樹幹への食込み ・舗装部の根上がり ・踏圧防止板の損傷 ・不陸・根元への食込み ・利用者に被害を及ぼすおそれのある実生の樹木 ・その他特記すべき変状及び異常
診断	<p>専門技術者または同等の技術力を有する者によって発見可能な高木の変状及び異常 (定期点検に追加される項目)</p> <p>(詳細な目視による点検)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹幹の開口空洞・隆起 ・腐朽部露出 ・樹皮枯死 ・欠損 ・結合部の変状及び異常 ・穿孔害虫 ・根張り(ルートカラー) <p>(打診による点検)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打診音異常(貫入による点検) ・根系の変状及び異常(機器による診断) ・樹体内部の変状及び異常

(2) 健全度判定に係る外観の評価基準（定期点検、診断）

Ⅲ 健全度判定に係る外観の評価基準(定期点検、診断)

	A	B	C	D
評価 点検項目	変状及び異常なし	変状及び異常が認められるが、危険性はない	危険性を有しているが、すぐには倒伏(、枝折れ)しない	非常に高い危険性があり、すぐに倒伏(、枝折れ)するおそれがある
揺らぎ	なし	該当なし	あり(小)	あり(大)
不自然な傾斜	なし	傾斜が見られるが、根付きに変状及び異常がない	該当なし	傾斜が見られ、地際周辺に変状及び異常がある
亀裂	なし	該当なし	あり(小)	あり(大)
子実体(キノコ)	なし	該当なし	あり(小)	あり(大)
開口空洞	なし	芯に達しない	芯に達し、周囲長比率 1/3 未満	芯に達し、周囲長比率 1/3 以上
隆起	なし	該当なし	あり(小)	あり(大)
腐朽部露出	なし	該当なし	周囲長比率 1/3 未満	周囲長比率 1/3 以上
樹皮枯死・欠損	なし	周囲長比率 1/3 未満	周囲長比率 1/3 以上	該当なし
結合部の変状及び異常	なし	該当なし	あり(小)	あり(大)
穿孔害虫	なし	あり(小)	あり(大)	該当なし
根張り	見える	該当なし	見えない	該当なし
打診音異常	なし	該当なし	あり(小)	あり(大)
貫入異常	なし	該当なし	あり(小)	あり(大)

※(小)(大)の判断基準は、【参考資料】都市公園の樹木の点検・診断に関する指針(案)Ⅱ 点検項目の解説参照。

着色項目は、診断項目であり、その他は定期点検項目

(3) 活力度の評価基準 (定期点検)

IV 活力度の評価基準(定期点検)

評価	1	2	3	4
樹勢	良い 葉の色正常	少し悪い 葉の色一部異常あり	悪い 葉の色全体に異常あり	枯死
樹形	望ましい樹形を保っている	樹形に乱れがある	樹形が著しく乱れ、回復の見込みが低い	望ましい樹形が完全に崩壊している

表 樹勢の評価基準

良い	少し悪い	悪い	枯死
			
樹木の例	樹木の例	樹木の例	樹木の例
1	2	3	4

(4) 樹木点検票 (個票)

VI 樹木点検票 (個票)

(定期点検)

公園

箇所				点検日時	令和 年 月 日() :		
樹種名		樹木番号		点検者	所属		氏名

外 観	纏	① 枯れ枝	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	数(本)枝径(最大 cm)		
		② ぶら下がり枝	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	数(本)枝径(最大 cm)		
		③ 視距の阻害	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり			
		④ 突出枝(中低木を含む)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり			
	纏	⑤ 樹幹の揺らぎ	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	
		⑥ 樹幹の不自然な傾斜	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> D	
		⑦ 樹幹の亀裂	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	
		⑧ 樹幹・大枝・地際のキノコ	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	
		活 力 度	⑨ 樹 勢(枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等)	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4		
			⑩ 樹 形(主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、葉の密度と配置等)	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4		
			⑪ 外周道路の建築限界侵害	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
			⑫ 支柱の腐朽・損傷・浮上・結束の緩み	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
			⑬ 支柱の樹幹への食込み	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
			⑭ 舗装部の根上がり	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
			⑮ 踏圧防止板の損傷・不陸・根元への食込み	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
写真・スケッチ				特記事項		
点 検 判 定						
診断の必要性		応急的措置の必要性				
必要・不要		必要()・不要・不明				

(5) 樹木診断カルテ

Ⅶ 樹木診断カルテ (1/2)

(診断・総合判定)

公園

箇所		樹種名		樹木番号			
実施日		平成 年 月 日 ()		実施者 所属			
				氏名			
外観診断	健全度判定に係る事項	樹幹の揺らぎ	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D		
		樹幹の不自然な傾斜	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D		
		樹幹の亀裂	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D		
		子実体(キノコ)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D		
		活力度	樹勢(枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等)	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4			
			樹形(主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、葉の密度と配置等)	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4			
		外観診断	健全度判定に係る事項	芯に達した開口空洞	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
				芯に達しない開口空洞	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)		
				樹幹の隆起	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
				腐朽部露出	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
				樹皮枯死・欠損	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C
				結合部の変状及び異常	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
				穿孔害虫	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C
				根張り(ルートカラー)	<input type="checkbox"/> 見える <input type="checkbox"/> 見えない	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C
				打診音異常	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
				貫入異常	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	判定	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
				枯れ枝	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	数(本)枝径(最大 cm)	
				ぶら下がり枝	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)	数(本)枝径(最大 cm)	
				外周道路の建築限界侵害	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		
				支柱の腐朽・損傷・浮上・結束緩み	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)		
支柱の樹幹への食込み	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり						
舗装部の根上がり	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり						
踏圧防止板の損傷・不陸・根元への食込み	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(部位:)						
判定	機器診断の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 () <input type="checkbox"/> 不要					
	応急的措置の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 () <input type="checkbox"/> 不要					
機器診断	実施日	平成 年 月 日 ()		診断書 No.			
	実施者	所属		代表者氏名			
	実施方法						
	診断結果	部位 (GL m)		部位 (GL m)			
	判定	<input type="checkbox"/> 本格的措置は不要 <input type="checkbox"/> 本格的措置が必要 <input type="checkbox"/> 経過観察が必要					
判定理由							
総合判定	判定日	平成 年 月 日 ()					
	健全度判定	<input type="checkbox"/> A健全 <input type="checkbox"/> B健全に近い <input type="checkbox"/> C要注意 <input type="checkbox"/> D危険木					
	判定理由						
	総合所見						
	本格的措置の必要性	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり					
本格的措置の内容	<input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 植替え <input type="checkbox"/> 危険部位除去() <input type="checkbox"/> 剪定						
	<input type="checkbox"/> 支柱補修 <input type="checkbox"/> 支柱撤去 <input type="checkbox"/> 踏圧防止板補修 <input type="checkbox"/> 踏圧防止板撤去						
	<input type="checkbox"/> 土壌改良 <input type="checkbox"/> 施肥() <input type="checkbox"/> 薬剤処理() その他()						
経過観察の内容	次回点検の時期と内容()						
本格的措置の実施記録	実施日	平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 ()					
	実施内容						
経過観察の実施記録	実施日	平成 年 月 日 ()	所見				
		平成 年 月 日 ()					
		平成 年 月 日 ()					

樹木診断カルテ(2/2)

(図版等)

_____ 公園

立地平面図

樹木全景

本格的措置部位写真(措置前後)

その他特記事項